2027年３月期　中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月20日

上場会社名　清鋼材株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3448　URL　https://www.suga-steel.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）星野　陽一
問合せ先責任者　（役職名）取締役　（氏名）山本　正人　TEL　025（553）0121

中間発行者情報提出予定日　2026年12月25日　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期中間期の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,115	8.0	4	－	△17	－	△14	－
2026年３月期中間期	1,032	△19.3	△35	－	△62	－	△60	－

（注）包括利益 2027年３月期中間期　△10百万円　（－%）　2026年３月期中間期　△54百万円　（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△49.14	－
2026年３月期中間期	△203.22	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,772	18	1.0
2026年３月期	1,864	31	1.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　18百万円　2026年３月期　31百万円

２．配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	0.00	0.00
2027年３月期	0.00		
2027年３月期（予想）		0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,651	28.3	63	－	23	－	13	－	46.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	300,000株	2026年３月期	300,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,000株	2026年３月期	1,000株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	298,650株	2026年３月期中間期	299,000株

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、ウクライナ戦争の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりや米国の通商政策、中国経済の停滞継続など懸念が残るものの、概ね緩やかな回復基調で推移しております。日本経済は、堅調な企業収益や持ち直しつつある個人消費、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調となっております。一方で、地政学リスクの継続、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、金利・為替の変動等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する鉄鋼業界においては、海外鉄鋼市場では、欧州では回復の兆しが見られるものの、中国経済の停滞継続に伴う需給ギャップの拡大、米国の高関税の継続などにより、全体として市況は低調に推移しております。国内鉄鋼市場は、建設業や製造業が低調に推移し、住宅着工や機械受注についても資材価格高騰や人的資源不足などの要因から不安定な状況が続き、鉄鋼受注・生産ともに低調に推移しております。

このような市場環境・経営環境の中で、当中間連結会計期間の売上高は1,115,267千円（前年同期比8.0％増加）、営業利益は4,551千円（前年同期は営業損失35,206千円）、経常損失は17,889千円（同経常損失62,051千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は14,676千円（同親会社株主に帰属する中間純損失60,761千円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

（日本）

売上高は811,525千円（前年同期比0.8％増加）、セグメント損失は1,577千円（前年同期はセグメント損失37,771千円）となりました。鉄鋼市場は引き続き低調に推移しましたが、原価低減に努めました。

（タイ）

売上高は303,742千円（前年同期比33.4％増加）、セグメント利益は6,129千円（同139.0％増加）となりました。既存顧客（建機）の受注が堅調に推移し、増収増益となっております。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は773,675千円で、前連結会計年度末に比べ58,875千円減少しております。現金及び預金の減少104,928千円、売掛金の増加31,202千円、電子記録債権の増加23,907千円、商品及び製品の増加10,474千円が主な変動要因であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は998,925千円で、前連結会計年度末に比べ32,886千円減少しております。機械装置及び運搬具（純額）の減少21,679千円、建物及び構築物（純額）の減少7,900千円が主な変動要因であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は1,027,901千円で、前連結会計年度末に比べ7,599千円減少しております。短期借入金の減少43,800千円、未払費用の減少16,112千円、買掛金の増加41,236千円が主な変動要因であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は726,519千円で、前連結会計年度末に比べ70,434千円減少しております。長期借入金の減少66,377千円が主な変動要因であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は18,179千円で、前連結会計年度末に比べ13,728千円減少しております。親会社株主に帰属する中間純損失の計上による利益剰余金の減少14,676千円が主な変動要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は131,194千円（前連結会計年度末比104,927千円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は17,716千円（前年同期は116,140千円の使用）となりました。主な増加要因は仕入債務の増加額42,483千円、減価償却費39,894千円等、主な減少要因は売上債権の増加額55,076千円、税金等調整前中間純損失の計上14,936千円、未払費用の減少額14,354千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は12,543千円（前年同期は66,662千円の使用）となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出12,248千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は108,131千円（前年同期は250,841千円の獲得）となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出60,244千円、短期借入金の純減少額36,600千円等であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は不安定な市況が続いている一方、日本経済は、海外経済の回復に伴う輸出増加等を背景に回復基調にあり、中でも当社グループが営む鋼材加工事業の主要市場である建設機械業界及び産業機械業界の需要動向は緩やかな回復基調にあります。

このような経営環境下において、当社グループは『鉄を通して豊かな未来と生活を創造する』を経営理念に掲げ、これに基づいて経営諸施策を着実に実行し、業績の向上と企業価値の増大に努めるとともに、事業を通じて社会的課題解決にも取り組んでまいります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	236,177	131,248
受取手形	706	－
売掛金	193,015	224,217
電子記録債権	33,741	57,649
商品及び製品	68,675	79,149
仕掛品	29,867	29,935
原材料及び貯蔵品	248,164	241,234
その他	22,242	10,289
貸倒引当金	△40	△50
流動資産合計	832,551	773,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	168,986	161,085
機械装置及び運搬具（純額）	365,328	343,649
土地	389,017	387,397
リース資産（純額）	37,747	34,479
その他（純額）	7,636	6,359
有形固定資産合計	968,717	932,971
無形固定資産		
ソフトウエア	7,589	6,974
その他	1,275	1,275
無形固定資産合計	8,864	8,250
投資その他の資産		
投資有価証券	11,200	11,200
長期前払費用	10,936	9,232
保険積立金	22,466	27,206
その他	10,106	10,544
貸倒引当金	△480	△480
投資その他の資産合計	54,229	57,703
固定資産合計	1,031,811	998,925
資産合計	1,864,363	1,772,600

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,609	209,846
短期借入金	648,600	604,800
１年内返済予定の長期借入金	122,218	122,169
リース債務	5,949	5,307
未払金	28,015	24,195
未払費用	54,897	38,785
未払法人税等	530	265
未払消費税等	―	9,618
賞与引当金	4,980	10,509
その他	1,700	2,403
流動負債合計	1,035,501	1,027,901
固定負債		
長期借入金	736,953	670,575
リース債務	32,587	29,784
退職給付に係る負債	20,976	20,596
繰延税金負債	6,437	5,563
固定負債合計	796,954	726,519
負債合計	1,832,455	1,754,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	73,758	73,758
利益剰余金	△91,384	△106,061
自己株式	△3,405	△6,810
株主資本合計	78,969	60,887
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△47,061	△42,708
その他の包括利益累計額合計	△47,061	△42,708
純資産合計	31,907	18,179
負債純資産合計	1,864,363	1,772,600

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,032,916	1,115,267
売上原価	893,201	945,763
売上総利益	139,714	169,504
販売費及び一般管理費	174,921	164,953
営業利益又は営業損失（△）	△35,206	4,551
営業外収益		
受取利息	1,839	2,885
受取保険金	－	670
保険解約返戻金	－	816
助成金収入	－	840
その他	289	377
営業外収益合計	2,128	5,589
営業外費用		
支払利息	13,469	15,723
支払手数料	4,671	4,996
為替差損	10,383	6,489
その他	448	821
営業外費用合計	28,972	28,030
経常損失（△）	△62,051	△17,889
特別利益		
固定資産売却益	728	2,952
特別利益合計	728	2,952
税金等調整前中間純損失（△）	△61,323	△14,936
法人税、住民税及び事業税	312	613
法人税等調整額	△873	△873
法人税等合計	△561	△260
中間純損失（△）	△60,761	△14,676
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△60,761	△14,676

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純損失（△）	△60,761	△14,676
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,262	4,353
その他の包括利益合計	6,262	4,353
中間包括利益	△54,498	△10,323
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△54,498	△10,323
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△61,323	△14,936
減価償却費	43,520	39,894
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,188	5,529
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△844	－
受取利息	△2,019	△3,185
支払利息	13,469	15,723
為替差損益（△は益）	10,383	6,489
固定資産売却損益（△は益）	△728	△2,952
売上債権の増減額（△は増加）	△28,142	△55,076
棚卸資産の増減額（△は増加）	△54,084	△6,337
仕入債務の増減額（△は減少）	△14,760	42,483
未払金の増減額（△は減少）	1,740	△3,316
未払費用の増減額（△は減少）	1,763	△14,354
未払消費税等の増減額（△は減少）	△15,747	9,618
その他	△2,297	12,448
小計	△104,881	32,028
利息の受取額	2,019	3,185
利息の支払額	△14,600	△16,967
法人税等の支払額	△265	△530
法人税等の還付額	1,586	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	△116,140	17,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,172	△12,248
その他	△3,489	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,662	△12,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	13,320	△36,600
長期借入れによる収入	300,000	－
長期借入金の返済による支出	△53,677	△60,244
リース債務の返済による支出	△2,615	△2,947
シンジケートローン手数料の支払額	△6,185	△4,934
自己株式の取得による支出	－	△3,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	250,841	△108,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,630	△1,969
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	63,408	△104,927
現金及び現金同等物の期首残高	112,886	236,122
現金及び現金同等物の中間期末残高	176,294	131,194

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

（１）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社グループは、主に鋼材加工事業を行っており、各地域において現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、「日本」及び「タイ」の２つを報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
日本	鋼材加工事業（主に建設機械・産業機械用部品の加工・販売）
タイ	同上

（２）報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの損益は、営業損益の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格等に基づいております。

（３）報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額（注）
	日本	タイ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	805,184	227,731	1,032,916	－	1,032,916
計	805,184	227,731	1,032,916	－	1,032,916
セグメント利益又は損失（△）	△37,771	2,564	△35,206	－	△35,206

（注）セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額（注）
	日本	タイ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	811,525	303,742	1,115,267	－	1,115,267
計	811,525	303,742	1,115,267	－	1,115,267
セグメント利益又は損失（△）	△1,577	6,129	4,551	－	4,551

（注）セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。